



若さはつらつ

山古志中学校運動会

人口の動き (4.8.31現在) ■人口 2,849人(△5) 男 1,432・女 1,417 ■世帯数 783(△2) ■8月中のうごき □出生1 □死亡5 □転入8 □転出9



あなたの一票大切に

十月二十五日(日)は
県知事選挙
の投票日

新潟県知事選挙が十月五日告示され、二十五日(日)に投票が行われます。
みんなで棄権することなく、投票いたしましょう。
投票時間は、午前七時から午後六時までです。
やむを得ない用務などで、当日投票できない人は、十月五日から二十四日までに役場村民相談室で不在者投票をしてください。(時間は、午前八時三十分から午後五時まで)

お知らせ

普及所から
農政コーナー

◆降雪前の野菜栽培管理◆

一、サトイモの種いも選別と貯蔵
品質の良いイモ作りには種株の選抜が大事となります。堀取り時にあまりイモ数が多く着いてなく、丸形のイモが揃っている株を残す良いでしょう。
貯蔵には付着している土が落ちない程度に陰干しを行なう。(あまり乾燥すると貯蔵が悪くなる)真中には息抜き用にかヤ束(10cm径位)を立て、その周囲にイモ株を積み上げ後、モミガラで厚く囲って雨水が入らないよう稲わらで覆ってください。
二、タマネギの定植
雪の多い山古志村では、根雪の40日以上前までに定植を終るようになりますと、ほとんどの苗越冬が

順調に行きます。

目安としては10月15日位と
思います。
苗の大きさは葉数4〜5枚、茎の太さ6〜7mm(エンピツ大)が適当です。茎の太さ10mm以上はトウ立ち(花が咲く)となり、5mm以下はトウ立ちしないが越冬が不安定で、越冬しても小球となります。

三、アスパラガスの定植

6月に播種した苗は、秋霜が降る頃、茎葉が8割位黄化してきたら地際で刈取り、根株を堀り上げ植え付けます。

石灰や苦土重焼燐を充分施用し植溝には堆きゅう肥を投入し、株間は30〜40cmとします。

四、畑を清潔に！
根コブ病が野菜類に多く見られる様になりました。秋に発病したハクサイ等の根株は畑の外に持ち出し、山林に捨てましょう。
一株のコブに何万個の菌が入っており、翌年の大発生源となります。

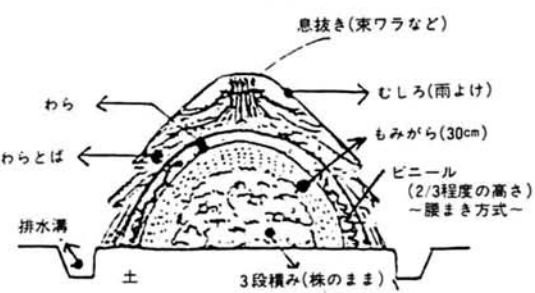
旅券法の改正

11月1日から旅券発給の申請内容が変わります。主な改正点は次のとおりです。
○申請書の様式や写真のサイズが変更され、申請時に提出する写真は1枚となります。
○旅券発給手数料が改定され、一般旅券は、10,000円に、記載事項の訂正は900円に引き上げられます。

※なお、現在お持ちのパスポートは有効です。そのまま期限まで使用できます。
◎旅券申請手続きのテレホンサービス(電話(025)283-1050)を毎日行っていますので、お気軽にご利用ください。



(サトイモの屋外貯蔵)



くらしのガイド

区分	届ける人	届出期間	届出に必要なもの
住所移転 などの 届けは	転入届	本人または世帯主	住所を定めた日から14日以内
	転居届	〃	〃
	転出届	〃	転出前にあらかじめ
住民課へ	世帯変更届	〃	変更のあった日から14日以内

秋の大イベント(産業まつり) [11月3日] "多数の出品を"

一般会計22.1億円の使いみち

3年度決算

当初一億二、三〇〇万円(前年比三・八%増)でスタートした一般会計予算は、歳入歳出差引形式収支で一億二、五六六万円の赤字です。このうち平成四年度に繰越す、繰越明許費六、八八二万円を差引くと三年度決算における実質収支は五、八八五万円の赤字となります。

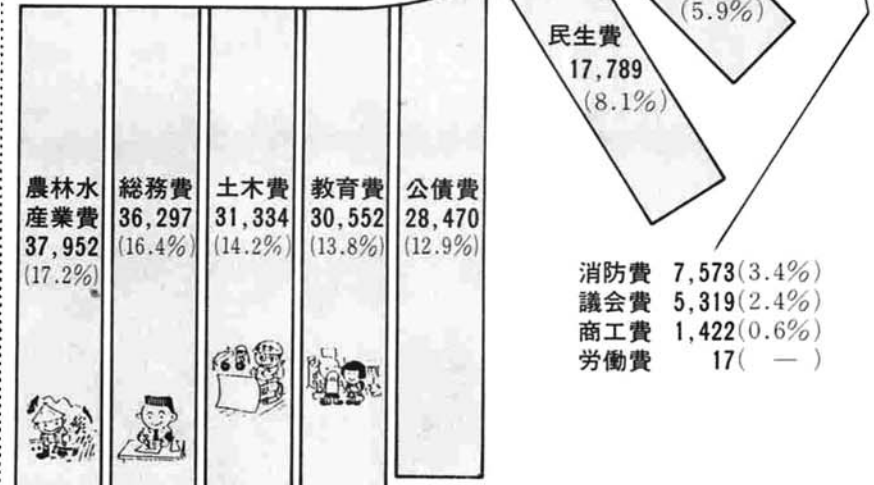
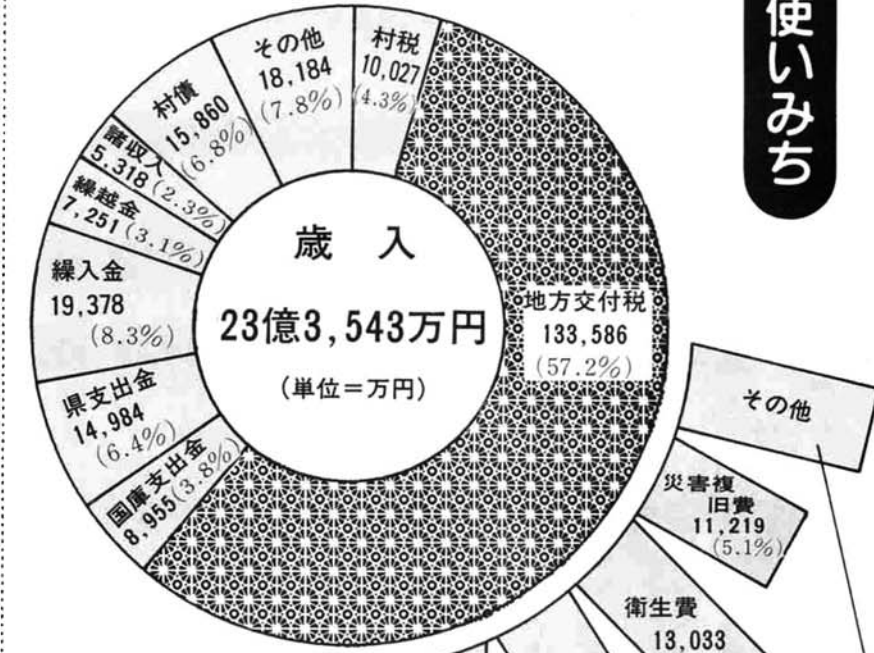
歳出は、前年度より一億四、二九四万円、六・九%増となり、自然休養地の用地造成をはじめスキー場ナイター照明や道路整備などを行って、初めて二億円を越す大型決算となりました。どんな事業を行ったか主なものを紹介します。



錦鯉共同採卵ふ化蓄養殖施設(竹沢)

3年度に行った主な事業

- 〈山間地域総合振興対策事業〉
 - 錦鯉共同採卵ふ化蓄養殖施設建設 245㎡ 4,948万円
 - 闘牛アパート牛舎建設275㎡ 2,353万円
 - 雪中貯蔵施設建設16㎡ 862万円
- 〈新農村地域定住促進対策事業〉
 - 新定住事業他施設用地造成 830万円
 - 山菜等採取園造成・苗植栽工事 1,250万円
 - 中山間地域農村活性化総合整備事業測量設計等委託料 4,943万円
 - スキー場ナイター照明 3,090万円
 - 村道改良工事8路線 6,500万円
 - 下村横坂2号線52m、中外1号線85m、小松倉種字原虫亀2号線73m、虫亀間内平3号線85m、虫亀間内平6号線151m、虫亀濁沢1号線27m、宇賀地線185m、小松倉木籠線31m
 - 村道舗装工事8路線 2,599万円
 - 中野桂谷線200m、下村横坂線130m、種字原半蔵金線53m、虫亀間内平1号線123m、虫亀池谷線160m、木籠池谷線100m、小松倉宇賀地線185m、小松倉宇川線285m
 - 村道補修工事17か所 2,258万円
 - 除雪対策費 13,158万円
 - ロータリ除雪車・雪上車各1台
 - 除雪車格納庫 207㎡他
 - 林道整備 3,010万円
 - 城山線開設73m、風口線舗装785m
 - 簡易水道整備事業(虫亀地区)用地測量、実施設計業務委託料 1,288万円
 - 不燃物処理場(フェンス、道路新設等) 2,498万円
 - 生ゴミ・不燃ゴミ収集委託料 1,493万円
 - 公共土木災害復旧費19か所 5,827万円
 - 農業用施設災害復旧費4か所 2,760万円



歳出 22億0,977万円

歳入歳出差引=1億2,566万円

(明許繰越費除く 5,885万円)

初の22億円台

村民一人七五七、〇〇〇円

初めて二億円台となった一般会計決算ですが、村民一人当たり換算すると歳出は、昨年の六九万一千円を上まわる七五万七千円となります。

債六・八%など依存財源により財

政需要を随っています。特別会計では、国民健康保険会計で、昨年の八〇二万円を上まわる一、五五八万円の財産運用収入が給付準備基金に積立られています。

また、歯科診療所、老人保健会計に七二〇万円、一、二二六万円がそれぞれ一般会計から繰入が行われています。

三年度事業のトップは、農林水産業費となっていますが、これは、山間地域総合振興事業九、二六六万円、新農村地域定住促進対策事業八、七〇五万円、中山間地域農村活性化総合整備事業五、二九九万円などの国・県補助事業を行ったためです。以下、総務費、教育費、土木費の順となっています。

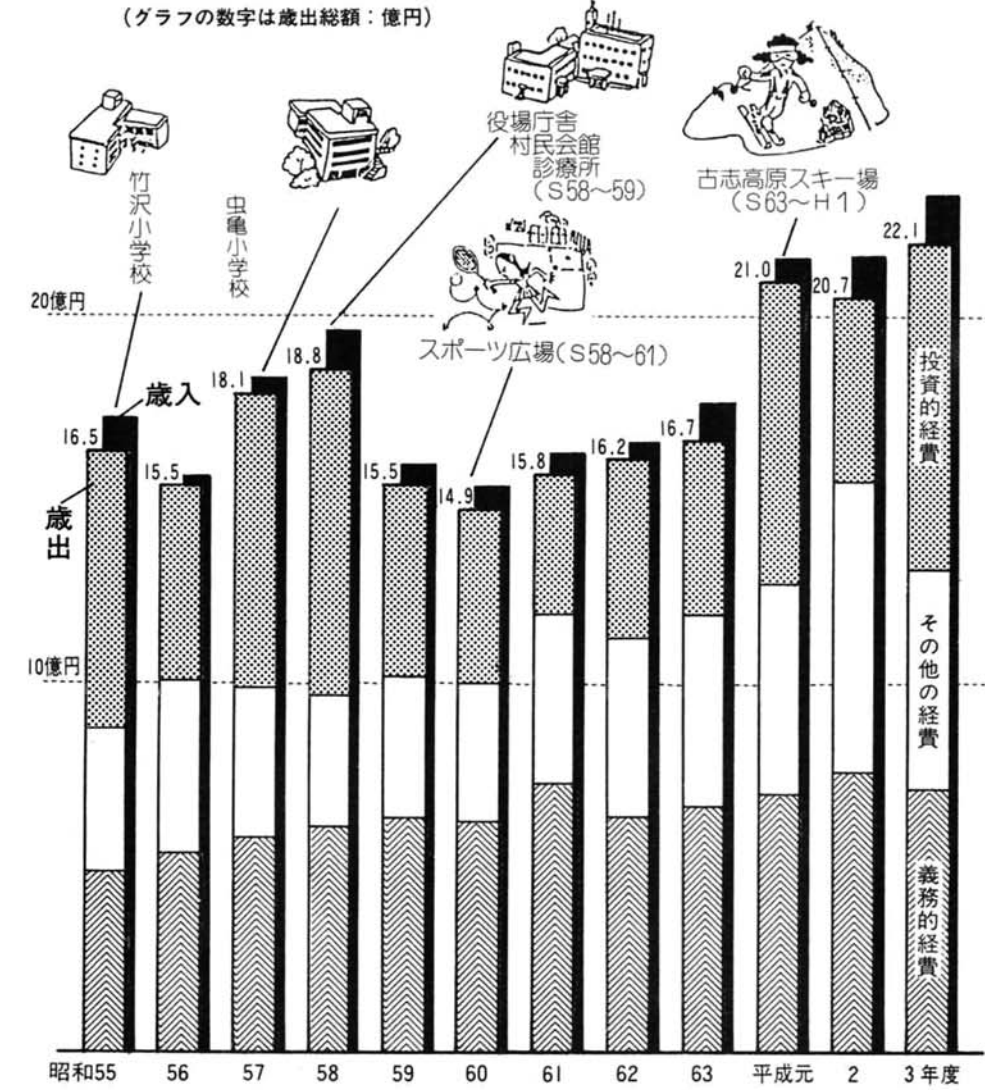
例年重点を置いている村道整備は改良・舗装各八線、補修十七線を行いました。

また、簡易水道工事着手を目指した、用地測量や実施設計の業務委託も行いました。

いっぽう、人づくり事業の助成(九件)、修学資金の貸付(五人)をはじめ、ふな樹林保護のため樹林地五〇二平方メートルを買収しました。

歳入では、村税が初めて一億円台に達しましたが、地方交付税が主体で総額の五七・二%を占め、国・県支出金一〇・二%、財政調整基金等からの繰入八・三%、村

一般会計決算の推移 (S55~H3)



3年度特別会計決算

区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険会計	2億4,034	2億0,980	3,054
老人保健会計	2億1,074	2億1,073	1
診療所会計	1億1,961	1億1,129	832
歯科診療所会計	2,984	2,975	9

積立金の現在高(4.3.31現在)

区分	金額
教育施設基金	4億5,132
財政調整基金	3億0,557
国保会計基金	1億7,601
人づくり基金	6,000
地域福祉基金	2,100
その他	2億6,268
合計	12億7,658

村債の現在高(4.3.31現在)

区分	未償還元金
過疎対策事業	10億4,935
義務教育施設	2億4,328
災害復旧事業	1億0,671
一般単独事業	9,120
辺地対策事業	6,371
その他	8,354
合計	16億3,779



智也ちゃん

平成2年5月31日生まれ 佐々木道夫・光子さん(長男)
—種苧原—

ぼくは、ものまねが大好き。
草刈り機で草をかまねや、畑の子防のまねも出来るんだよ！たばこをすうまねをしたら、「どこでみてきた？」って家の人が、びっくりしたよ。



わが家の

スター

秋を告げる 種苧原まつり

実りの秋を告げる種苧原まつり、今年も九月五、六日の土日に行われました。

五日朝の祝砲でまつりの開始を
つげ、午前九時から恒例となった
種苧原小学校鼓笛隊が、新調され
たハッピ姿で地区内を巡り、途中、
十二山神社、熊野神社に立ち寄っ
て収護の喜びと豊作を願っていま
した。

このハッピは、子供たちから祭
りを盛り上げてもらいたい、同
地区出身で東京在住の小川広治さ
んと、種苧原観光協会の寄付によ
り作られたものです。

午後からは、熊野神社で奉納相
撲が行われ、小学生の豆力士をは
じめ高柳町や広神村からも力士が



熊野神社参道

加わり、観衆から盛んな声援を受
けていました。夜は花火大会が行
われ、およそ六〇発が打ち上げら
れました。翌日は闘牛と盆踊り
(十二山神社)が行われていまし
た。

前哨戦で美を競う 田上り品評会



総合優勝1席は右下の鯉

九月六日漁協青年部主催の田上
り品評会が役場前で行われました。
六品種に三五六の自慢の当歳
鯉が出品され、シーズンまえの前
哨戦で美を競い合い、ナンパワ
ンには金子隆さんの大正三色が選
ばれました。

上位入賞者は次のとおりです。
(敬称略)

- ◎総合優勝
- 一席 大正三色 金子 隆
- 二席 昭和三色 五十嵐幸作
- 三席 紅 白 石原平治
- 〇優勝 紅 白 五十嵐千人
- 〃 大正三色 藤井元一

敬老会

笑顔で和む

九月十五日村民会館で敬老会が
開かれました。七五歳以上の約半
数の一七四人が、元気な姿を見せ
てくれました。

式典の中で、喜寿、米寿、白寿
と金婚該当者に県と村から記念品
が贈呈されました。また、来賓の
方々からお祝いの言葉が次々と贈
られていました。

その後、祝宴に入り、虫亀保育
所児童からおじいちゃん、おば
あちゃんお元気でいつもでも長生
きしてね」と励げましの言葉が贈
られた。孫にあたる児童の遊戯を



楽しみ。また、村民俗芸能協会の
演じる大正琴や民謡、踊りなど、
アトラクションを笑顔で見つめ和

生涯学習情報コーナー No.9

『読書の秋』

『村民会館の図書室の本
を読んでみませんか』

- ・「芸術の秋」「食欲の秋」「スポー
ツの秋」と楽しみの多い時季です。
皆さんはどんな秋を過ごしていま
すか。もし、何をしようかと思案
中の方がおられましたら「読書の
秋」をおすすめします。秋の夜長
を讀書で楽しみませんか。
- ・村民会館では四月からこれまで
約百冊の図書を購入しました。
(これからも継続的に図書を購入
していく予定です)。「読書の秋」
を公民館図書で楽しんでみません
か。購入した図書はつぎのよう
なものです。(一部)
- ・長崎オランダ村 村上 龍
- ・三年坂 伊集院 静
- ・心のある家 三浦 綾子
- ・ブス愚痴録 田辺 聖子
- ・恋愛学校 渡辺 淳一
- ・哀愁変奏曲 赤川 次郎
- ・呪いの鱈 西村 寿行
- ・狼奉行 高橋 義夫
- ・男と女の肩書き 藤堂 志津子
- ・西山町物語 江波 哲夫
- ・ガン病棟のカルテ 広瀬 康二
- ・病院で死ぬという 山崎 章郎
- ・現代の慰安婦たち 臼井 敦子
- ・権力の司祭たち 早坂 茂三
- ・信長の野望 加来 耕三
- ・バルセロナの休日 林 真理子
- ・名宝日本の美術
- ・7 東寺の高野山
- ・8 神護寺と室生寺
- ・9 平等院と中尊寺
- ・25 洛中洛外図と南雲屏風
- ・26 大雅・応挙
- ・27 若中・蕭白
- ・児童図書
- ・アルキメデス、アリストテレス
- ・ガリレオガリレイ
- ・パスカル、ニュートン
- ・エジソン、ハーバー
- ・杉田玄白、平賀源内
- ・湯川秀樹、朝永振一郎
- ・読んでみたい本がありましたら
お聞かせください。図書購入の際
の参考にさせていただきます。
- ・読書の楽しみ方は様々でし
が次のようなサークル(集まり)
を作ってみてはどうでしょう。
- ・それぞれが読んで本を持ち寄り
あらずじや感想を話し合う。
- ・テーマを決め一つの本について
全員で読み進める。
- ・親子で集まり読み聞かせや紙芝
居をして楽しむ。(教育委員会)

み、皆さんが楽しい一日を過ごさ
れました。

健康「ラム

今月の担当は
小川保健婦です

今年には国際障害者年十年目、最
後の年です。バルセロナオリンピ
ックのすぐ後で行われたパラリン
ピックでは新潟県からも選手が出
場し、また新潟市では全国ろう啞
者体育大会が開催されました。こ
れらは、障害者自らが社会の中に
入っていくことで、自分たちを理
解してもらおうと行われているも
のです。

では山古志はどうでしょう。
ご存知の方が多くでしょうか、
昨年末に村民会館の玄関及び館内
の階段に手すりがつきました。ま
た館内一、二階のお手洗いに手
すりがつき、車イスの人も利用で
きるように改築されました。

こうなってきたきっかけは「にこに
こ会」でした。この会は、もとも
と家に閉じこもりがちな老人を外
に出して、生活に張りをもたせる
ことにより、寝たきりや痴呆の防
止を図ることを目標に発足しまし

おわびと訂正

先月号の広報に次のような誤
りがありました。
おわびして訂正いたします。
▼三ページの長寿番付で男性ナ
ンバーワン五十嵐市蔵とあるの
は、川上市蔵さんの間違いでし
た。

社会福祉法人
山古志村社会福祉協議会
〒947-02
古志郡山古志村大字竹沢乙461
山古志村役場内
☎(0258) 59-2332
印刷 大川印刷株式会社

みんなひとりじゃないんだ。

赤い羽根共同募金

運動期間

10月1日～12月31日 ひとりひとりの優しさは 社会の資産です



老人福祉
●食事サービス
●介護サービス
●ホームヘルパー派遣
●友愛訪問活動
●リハビリテーションなどに



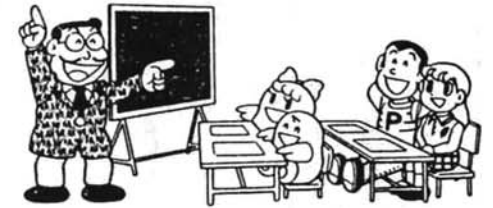
児童福祉
●子供会の育成
●学童保育所への援助
●遊び場の整備
●非行防止活動の推進
●スポーツ活動の促進などに



母子・父子福祉
●母子・父子会の育成
●交流活動
●家事援助サービスなどに



障害児・者福祉
●障害児・者団体の育成
●家族の会の育成
●障害者のレクリエーション活動などに



**ボランティア活動推進など
福祉育成援助活動**
●ボランティアスクールの開催
●福祉講座・研修会などに

共同募金は
いろいろな生活の
支えになっています
目標額 1,333,000円

歳末たすけあい
●在宅対象者への見舞
●施設入所者への見舞
などに



**思いやりが
みんなをつなげていく**
みんなが満ちたりて幸福である
ということ、経済的に豊かな時
代を生きるということはまったく
違うのだと、世の中が気がつきは
じめました。
どんなにお金を持つ国になっ
ても、お金を持つ自分になっても、
人を思いやる心を失っていたり、
孤独であれば、本当の幸福とはい
えませんがね。
人は、心、健康、暮らしのパラ
ンスをとりながら、必ずみんなと
つながりをもって生きている。パ
ランスが偏ったり、困った人がい
れば、助け合いながら共に生きて
いく。それが赤い羽根共同募金の
原点です。
募金というカタチのあなたの思
いやりは、めぐり巡って多くの
々とあなたを幸福の輪でつなげ
ていきます。
共同募金会では、より多く
の皆さまの参加、ご協力を心よ
りお願い申し上げます。

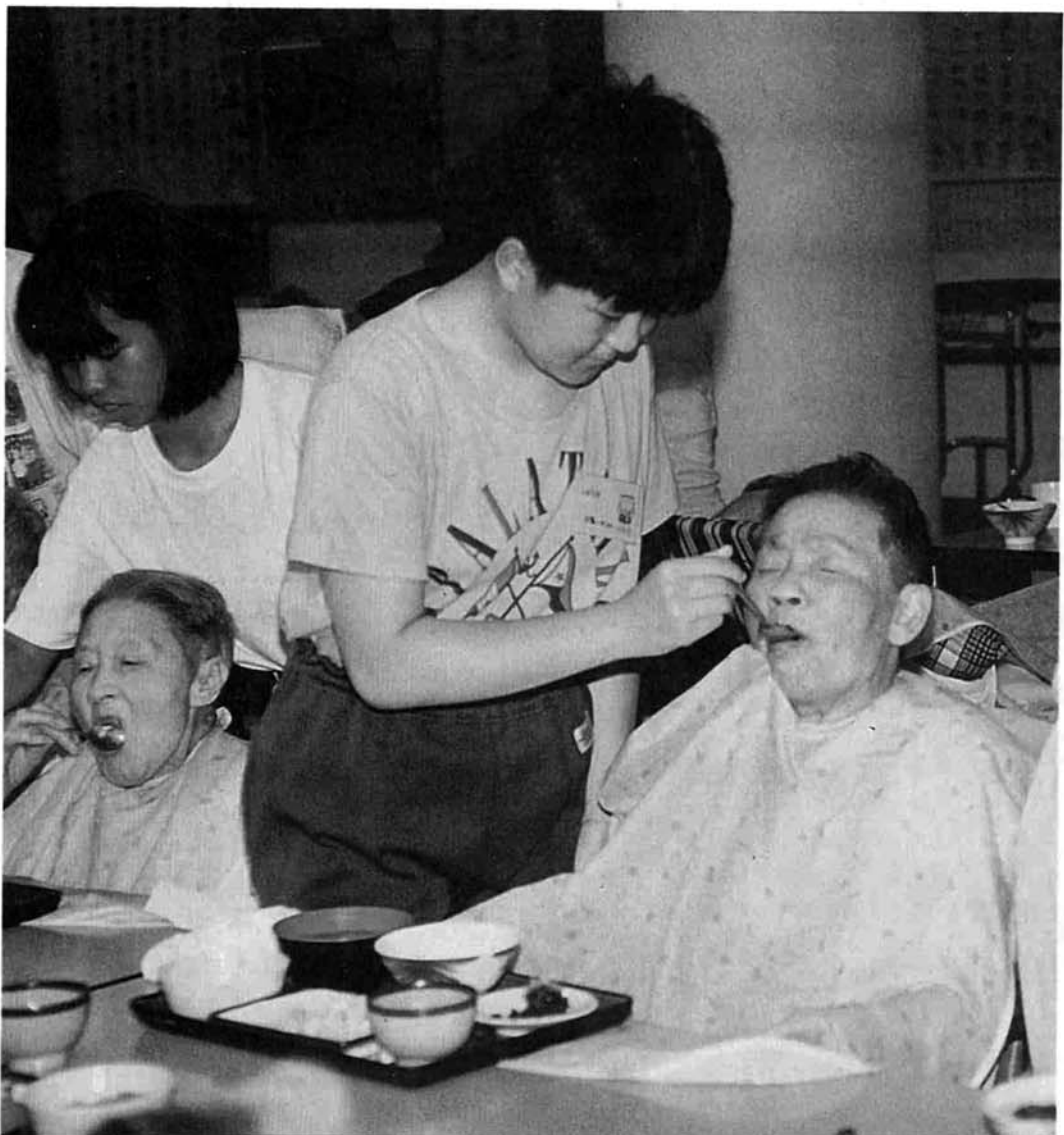
**社協会費納入
ありがとうございました**
平成4年度会費納入につきまして
は、村民の皆さまのご理解とご
協力をいただき、厚くお礼申しあ
げます。
この会費は、社協の欠くことの
できない重要財源であります。皆
さまの善意を無駄にせぬよう、適
切に活用させていただきます。
また、会費納入にご協力くださ
いました各区長さんに対し、深く
感謝申し上げます。ありがとうございました。



2泊3日の
お年寄りのお世話
やすらぎの里

福祉の心を学びました

中学生サマーワークキャンプ ——ボランティア活動——



7月29日から31日の2泊3日、特別養護老人ホームやすらぎの里（三島郡出雲崎町）で中学生サマーワークボランティアが開催されました。

昨年、出雲崎町社会福祉協議会からこのことを三古（三島・古志）管内で実施してどうかと声がかかり、今年開催することになったものです。

これは、夏休みを利用して、ボランティア活動を体験することにより、生命の尊さや自分の生き方について考え、福祉の心を育んでいくことを目的に計画しました。

今回は20人の中学生（男子3人女子17人）が、三古郡管内から集まり、山古志中学校からも4人の女子生徒が参加しました。

初めは少し戸惑った様子の生徒たちも、車椅子の移動介助から食事介助、水分補給のお世話等、活動するに連れ、積極的に介護できるようにになりました。

ここで、参加した山古志中学校の4人の生徒の声を聞き下さい。



山古志中学校3年

金内 智美

「食事がおいしい！
一あつい！
一お年寄りが元気！（口が達者）
一建物がきれい！」

お年寄りがよく話してくれて、想像以上に元気だなぁって思いました。それと、本当に食事がおいしくて、帰ってからの家での食事が……（お母様ごめん）たいへんだったけど、参加してよかったと思います。



わずかな時間ではありましたが、ここで学び得たものは大きかったのではないのでしょうか。

私達の社会には、元気に働いている人、病気の人、お年寄りや赤ちゃん、そして心身に障害をもっている人、もたない人など、さまざまな人がいます。そのような人々がみんなそろって、明るく楽しく生きていける社会でなければなりません。

しかし、私達は日常生活の中でいろいろな問題をかかえている人がいることにあまり気付かずにごろしているのが現状です。

ボランティア活動は、自分達の住んでいる地域社会でおこっている問題に眼をむけ、それに対して行動することから始まります。サマーワークボランティアは、いろいろな人達との出逢いの場です。これからの時代を担っていく子供たちの人生にプラスとなってくれたら……と思います。



山古志中学校3年

佐藤 美穂

福祉の仕事は、今回が初めてで最初のうちはとてもきんちょうしかったです。でも、だんだん慣れてきてお年寄りの方とも話せて、つかれたけど、とても楽しかったです。また、こういう機会があったらぜひ参加したいです。



山古志中学校3年

佐藤 いずみ

すこくつかれたけど、それなりに楽しかった。
1.食事介助のとき手がふるえていた。（少し）
2.車いすをガンガンぶつけてしまった。
3.人より耳が遠くて、お年よりの声がかきこえなかった。
というかんじの失敗がたくさんあった……。どうもすみませんでした。



山古志中学校3年

松井 智子

とつてもつかれたけど、いろいろなことを体験できて良かった。でも、自分からできばきと行動できなかったことが残念だった。この3日間のことを大切にしていきたい。そして、小さなことでも「ボランティア」をやりたいと思う。

活動内容

7月29日

- 開講式（10時30分）
- 入所者への紹介
- 昼食
- 実践活動
 - 1班—共同作品作りのお世話
 - 2班—
 - 3班—美術クラブに参加
 - 4班—レクリエーション活動のお世話

- お世話
- 各寮に分かれて茶話会
- 車椅子等移動用器具に親しむグループ活動
- 夕食の準備及び夕食の介助
- 夕食
- 自由時間
- 夜間の防災総合訓練に参加
- 入浴
- 就寝準備及び就寝

7月30日

- 起床及び洗面・身辺整理等
- 食堂への移動介助
- 朝食の準備及び朝食の介助
- 朝食
- 居室からホールまでの移動介助
- 物故者法要に参加
- 食堂への移動介助
- 昼食の準備及び昼食の介助
- 昼食
- 入所者との交流会の準備
- 入所者との交流会
- 移動介助
- 休憩
- 食堂への移動介助
- グループ活動
- 夕食の準備及び夕食の介助
- 夕食
- ワークキャンプ参加者の交流会
- 入浴
- 就寝準備及び就寝
- 7月31日
- 起床及び洗面・身辺整理・清掃等
- 食堂への移動介助
- 朝食の準備及び朝食の介助
- 朝食
- 実践活動
 - 1班—特浴時の入所者のお世話
 - 2班—リネン交換のお手伝い
 - 3班—居室内の清掃等
 - 4班—共同作品作りのお世話
- 閉講式
- 昼食
- お別れ会（12時45分）